

## <要旨>

近年、豪雨災害などの自然災害が頻繁に発生しており、自然災害の激甚化が進行している。その自然災害が発生するたびに起きている問題が「逃げ遅れ」である。この逃げ遅れが多いのが高齢者等の災害弱者であることは過去の災害から分かるように周知の事実である。逃げ遅れには様々な要因が挙げられているが、その中で災害時の情報伝達の機能不足は最も改善すべき点ではないかと考える。

本研究は、災害時の情報伝達について行っている。地区防災計画や過去の災害、自治体の取り組み等を踏まえて出た課題の解決策を提言する。